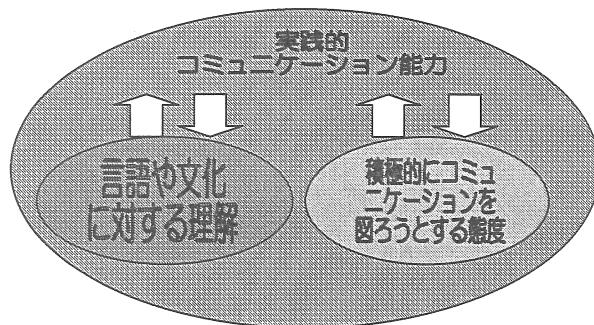


# 外 国 語

## 1 外国語科のねらいの実現に向けた成果と課題

中学校外国語科においては、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うこと重視し、生徒が相手の意向を理解して、自分の考えなどを伝えることができる具体的な目標に掲げている。そのため、実際に英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする言語活動を効果的に行なうことが大切である。また、生徒の学習段階を考慮しつつ、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるよう指導することが必要である。

【教科目標の構造図】



### 主な成果

- 「聞くこと」「話すこと」の言語活動に重点をおいて指導される傾向がある。  
中学校で養うべき実践的コミュニケーション能力の基礎を育成するためには、実際のコミュニケーションを目的として、音声によるコミュニケーションを重視しつつ、英語を運用できることが大切である。

### 主な課題

- バランスのとれた言語活動が行われていない傾向がある。  
基礎的・基本的な内容についての指導を十分行なうとともに、それを活用して意思の伝達を行う言語活動を重視する。
- 「言語の使用場面」や「言語の働き」への配慮が不十分である。  
実践的コミュニケーション能力の育成のためには、日常の授業において行われる言語活動ができるだけ実際の言語の使用に近い形で行われ、効果的であることが大切である。

## 2 課題解決のポイント

### (1) 知識・理解を深める言語活動から、考え方や気持ちを伝え合う言語活動

実際に言語を使用してコミュニケーションを図る活動というのは、言語が本来の役割を果たして用いられる活動であり、その中心は伝える意味にある。コミュニケーションを図るために意味を伝える活動が中心となる。それに対して、言語材料について理解したり練習したりする活動とは、言語自体を獲得するための活動であり、音声や語彙、文構造などについての知識を獲得し、それらを使用できるように練習することを指している。

#### バランスを欠いた指導（例）

- ゲーム的な活動などに終始し、発音の基本、言語の基本的な構造などについての指導が十分でない。
- 発音練習、文型練習、文法理解の確認などの言語材料についての理解や練習ばかり行われている。

#### 両者のバランスに配慮した指導の必要性

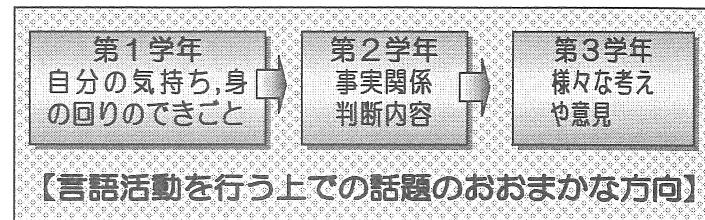
実際に言語を使用してコミュニケーション活動を図る活動



言語材料についての理解や練習を行う活動

## (2) 学習段階を考慮した指導

第1学年は英語学習の初期の段階であり、言語活動に親しみをもたせ、進んで言語活動を行うような積極性を育てること、第2学年では言語の



使用場面や言語の働きを更に広げること、第3学年ではそれを一層広げることが大切である。次第に言語活動に慣れ、また、英語の能力が向上するにつれて、より課題解決的な場面を取り上げたり、より適切な表現を選択できるようにすることで、生徒はコミュニケーションが効果的に図れるようになる。また、それに応じて一層の向上心や言語活動に対する積極性も育っていくことができる。

なお、言語活動で取り上げる話題についても各学年の指導に当たって配慮する必要がある。

## 3 評価の工夫による授業改善

評価を行う際に、適切な評価規準を設定しその規準に基づいて生徒の達成状況をみることが、目標に準拠した評価を行う上での基本となる。そのためには、4つの評価の観点を的確に理解することが求められる。

### (1) 4つの評価の観点の記述の整理

評価の観点	一般的な表現
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	「～しようとしている」「～している」
表現の能力	「～することができる」
理解の能力	「～することができる」
言語や文化についての知識・理解	「～の知識を身に付けています」 「～についての知識がある」 「～について理解している」

この表は国立教育政策研究所の教育課程研究センターからの参考資料をもとに整理したものである。4つの評価の観点ごとに一定の表現を用いるようにすることで、観点間の誤解をある程度避けることができると考えられる。

もちろん、これらの表現が絶対的なものではないが、上記のような表現を用いることにより、評価規準のあいまいさが修正できることもある。

### (2) 授業の構成要素

授業構成をしっかりと考えておけば評価の視点が明らかになってくる。指導内容が焦点化されていれば、それが評価の対象となるからである。授業の構成要素をもとに単元（レッスンやユニット）をどのように指導するかを考えることになる。これらの要素がよく練られている授業は分かりやすく「うまい授業」と感じさせてくれるものである。

#### 授業の構成要素

- 知識を与えること
- 練習させること
- 使用させること
- 興味・関心をいたかせること